

石川上昇率全国10位

路線価 1.6%、2年連続プラス

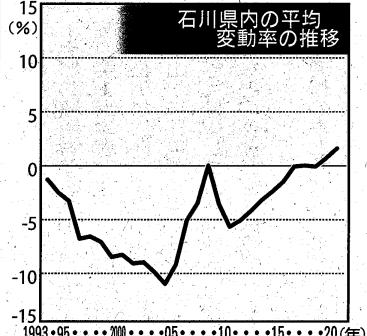
金沢国税局は1日、相続税や贈与税の算定基準となる2020年1月1日時点の路線価を公表した。石川県内では標準宅地の平均変動率がプラス1・6%で、都道府県別の上昇率では昨年15位となつた。昨

年の同0・7%に続き、2年連続の上昇となつたが、年初の時点では新型コロナウイルスの影響がなく、不動産鑑定士の間では、地価は既に下落に転じているとの指摘がある。

【5、9、30面に関連記事】

県内の標準宅地の平均変動率は、現在の算定方式となつた1993(平成5)年から、横ばいだった2008年と17年を除いて下落が続き、昨年、プラスに転じた。

県内の標準宅地4201



最高は金沢駅東
石川県内の最高価格は金沢市堀川新町の金沢駅東広場通りで、1平方ばかり96万円となつた。

5税務署管内別で最高路線価をみると、金沢と松任

七尾と輪島は上昇、小松が横ばいで、七尾と輪島は下落した。

松任は野々市市藤平田1

地点(前年比80地点減)の2地点減、下落は954うち、上昇は2058地点(同602地点増)、横ばいは1189地点(同605%)よりも上昇率が拡大し、上昇は5年連続となつた。富山県は

最高は金沢駅東

石川県内の最高価格は金沢市堀川新町の金沢駅東広場通りで、1平方ばかり96万円となつた。

5税務署管内別で最高路

線価をみると、金沢と松任(時価)の大幅な下落が確認され、路線価を下回った場合、減免措置を講じることを検討している。

丁目・市道藤平田18号で7万3千円、小松は小松市土居原町・駅前通りで10万5千円。七尾は運営会社が破産し七尾市が取得した複合商業施設「パトリア」前の七尾市御祓町・七尾港線通りで5万2千円、輪島が輪島市河井町・朝市通りで5万4千円となつた。

国税庁は、広範囲で地価

とを検討している。

立ら査不よ真男ク姿すのに身危